

サンフラワー

豊田発！国際ボランティア情報誌

SUNFLOWER

2006.10.1(季刊)

ISSN 0915-1710

NO.94

豊田市国際交流サロン(仮)来春設置予定

TIA 移転します！！

来年度初頭にTIA事務所が豊田産業文化センター3階(豊田商工会議所事務所跡)に移転します。広さは現在の倍以上になり、開館時間もさらに延長して、市民レベルの国際交流と企業の国際化推進に向けて新たな取り組みを行います。

その新たな取り組みのひとつとして、ボランティア・市民を中心とした多様な国際交流の拠点とすべく、豊田市国際交流サロン(仮)を同所に設置し、その運営を行います。

豊田市国際交流サロン(仮)のコンセプトは以下のとおりです。

1. 来訪・在住外国人と日本人住民がともに語り、学び、交流を深めることのできる場所
2. 外国人が必要とする産業、観光、イベント、教育、生活等様々な情報を提供する場所
3. 国際都市にふさわしく、快適で格調ある空間と雰囲気のある場所
4. ボランティアや、市民が主体となった多様な交流活動を行うことができる場所
5. 公共交通の利便性がよく、訪れやすい場所

以上のコンセプトをもとに、いろいろな新規事業を計画しております。

各種情報提供・相談体制の充実(イベント・生活・行政情報の提供、図書資料閲覧、PC端末の設置ほか)

くつろぎ・交流の場の提供

日本文化の体験(お茶、生け花、着物の着付け、習字、折り紙、琴ほか)

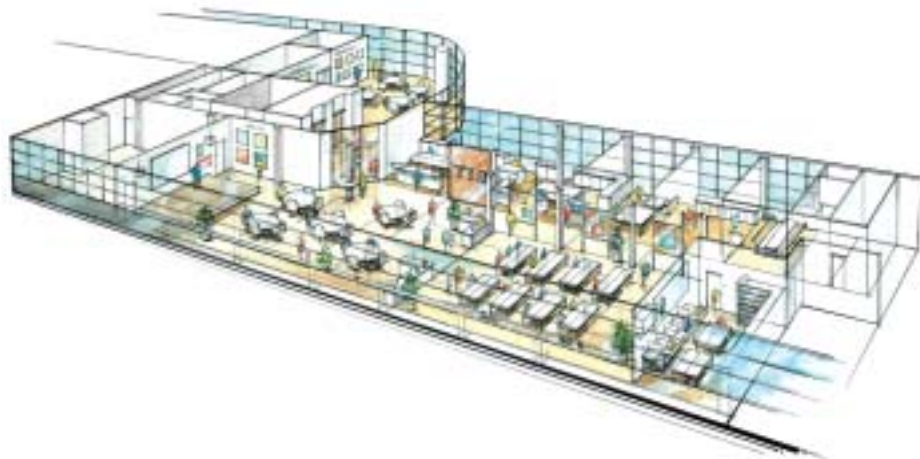
交流イベントの開催(音楽会、映画、日本舞踊ほか)

ギャラリーコーナーを設置し展示会を開催

産業・観光分野の情報提供・相談

これからもいろんな方に来ていただけるようなTIAを目指してがんばります。

(構成/兵藤隆裕)



外国人災害サポートボランティア養成講座

発生が懸念される東南海地震、防災対策強化地域に指定されている豊田市。このまちに住む外国人市民を視野に入れた防災体制の整備をTIAは豊田市と協力して進めています。今回は8月から全5回のシリーズで行っている「外国人災害サポートボランティア養成講座」の様子をお届けします。

神戸と新潟の震災をはじめ大きな災害が発生した時、外国人被災者はことばの問題から正確な情報が得られず、日本人と同じように避難所生活や復興支援時の情報やサービスを受けられないことが大きな課題となりました。今回の養成講座は彼らへの情報提供や相談業務の支援について、ことばの面からサポートできる人材の確保が目的です。

講座は全5回。参加者は30人という主催者の予想を超え、さらにその半数が外国人のネイティブボランティアの方々でした。母国と日本の生活習慣に通じている彼らは、ことばだけでなく文化の通訳ができる心強いサポーターです。講師は神戸や新潟の震災の外国人被災者支援で活

躍された方々を招き、当時の活動の様子、ボランティア活動に求められる心構えや知識などの講義を受けています。「今自分がどこにいるか分からない。とにかく安全なところに避難したい。」「友人が死亡したが、役所での手続きや葬儀、母国への遺体の搬送などの手続きをサポートしてほしい。」これらは過去の震災で実際に外国人被災者からあった相談です。それらの対応方法を考えるワークショップでは、相談内容の多様さと深刻さに参加者一同身が引き締まるとともに、事前に準備すべきことの大切さを痛感しました。

今回参加してくれたボランティアの皆さんとの繋がりを大切にしながら、今後もいざという時のサポートの輪を広げていくことが重要です。しかし甚大な被害やその後の復興活動期間の長さを考えれば、ボランティアの数はまだまだ足りないのが現状です。一人でも多くの方の力が必要となります。TIAでは災害サポートボランティアを随時募集しています。ご関心のある方はTIAまでご連絡下さい。

(構成 / 白井彩絵)



第4回「コミュニケーション」を考えるワークショップの一角

講座の概要

第1回

オリエンテーション
市役所担当課職員・TIA

第2回

外国人被災者支援の経験から
長岡市国際交流センター / 羽賀友信氏

第3回

災害時の通訳・翻訳・情報提供の実践
多文化共生センター / 田村太郎氏

第4回

外国人被災者支援の経験から
元新潟県国際交流協会 / 須田麗子氏

第5回

やさしいにほんごの活用・修了式
弘前大学大学院 / 佐藤和之氏



第3回講座の風景

「愛・地球博」豊田市フレンドシップコーナー(その10)



～平成18年度とよた国際交流市民事業助成金について～

愛・地球博を通して培った市民主体の国際交流・国際協力のボランティア活動の活性化に寄与し、豊田市の国際化に貢献するものへの支援を目的として、広く豊田市民のための、または市民が参加できる新規事業にTIAがサポートをします。

地域の国際化に貢献する国際交流・国際協力事業に対して、助成金(対象経費の7割以内、上限20万円/団体)を交付します。今年度は11月1日～平成19年2月末までに完了する事業を対象として9月に募集をしました。審査結果はホームページに記載します。本事業は来年度以降も続けて行きたいと思っております。広報とよたやホームページなどでチェックしてください。
(構成/塚本江美)



産業フェスタ2006での一場面

☆ TIAとTIAボランティアの活動報告 ☆

7月

- 1日 第2回アップ ウィズ ビーブル実行委員会
〔地域活動先の検討と受入準備 事務局3名・オープンハート〕
- 2日 日本文化体験デー
〔喜楽亭にて着物着付け、お茶、花、習字、折り紙、絵手紙など 30名〕
- 4日 米国ウエイン州立大学生2名、中村助役表敬訪問 オープンハート
〔6月23日から7月6日までオープンハートメンバー宅でホームステイ〕
- 7日 韓国朝鮮語入門講座終了〔全8回 20名〕
- 9日 第2回 ボランティアグループ代表者会議
〔ボランティア交流会のあり方について 8名 事務局2名〕
- 12日 愛知県多文化共生施策意見交換会
〔愛知県、豊橋市、豊田市教育委員会からの報告と意見交換 事務局1名〕
- 13日 外国人防災対策班第1回打合せ
〔庁内における災害時の外国人市民への支援体制について協議 事務局3名〕
- 14日 外国人集住都市会議 愛知・三重地域ブロック会議
〔トヨタブラジル人整備工養成コース結果について報告、外国人青少年就労問題について協議 事務局2名〕
- 17日 フィリピン バゴ市長歓迎会
〔オイスカ豊田支局会員他約100名で市長一行を歓迎 事務局1名〕
- 18日 第2回 国際協相談委員会
〔7/29外国人児童・生徒保護者教育説明会の最終調整 事務局1名〕
- 21日 国際協理解解委員会
〔8/4ふれあい交流会に向けての事前調整 事務局1名〕
- 22日 中国語入門講座スタート〔全12回、19名〕
- 22日 第3回アップ ウィズ ビーブル実行委員会
〔地域活動先の検討と受入準備 事務局3名・オープンハート〕
- 29日 豊田おいでんまつり「トヨタリアン」参加
〔日本語教室の学習者、ボランティア約80名〕
- 外国人児童・生徒保護者教育説明会
〔昨年度より参加者増加 意見交換など 事務局1名〕
- 31日 第2回不就学実態調査委員会
〔事務分担の見直しなど 事務局2名〕

8月

- 4日 外国籍児童生徒ふれあい交流会
〔豊田市総合野外センターにて交流会、ストラップ製作、アスレチック 事務局1名〕
- トヨタブラジル人整備工養成コース第7期卒業式
〔1年間のプログラム終了し、19名が卒業、ブラジル大使館公使及び総領事館領事も参列 事務局3名〕
- 5日 第1回 外国人災害サポートボランティア養成講座
〔外国人・日本人ボランティア24名が参加、初回は市職員を交えたオリエンテーションを実施 事務局3名〕
- 6日 アルファ閉講式
〔式後の交流会ではボランティア、受講者を交え大いに盛り上がる130名〕
- 臨時ボランティアグループ代表者会議
〔「ボランティアの集い」についての案づくり、12/3開催予定 9名 事務局4名〕
- 米国「People To Peopleアンバサダープログラムス」ホームステイ受入事前説明会
〔ホストファミリー約30名を対象に受入についての説明、連絡事項等 オープンハート〕
- 10日 豊橋市職員2名 TIA視察
〔豊橋市役所まちづくり研究会 日本語講座、多言語相談窓口について説明 事務局3名〕

9月

- 11日 米国「People To Peopleアンバサダープログラムス」ホームステイ受入
〔米国の14～17歳の子供たち40名を受入 14日まで オープンハート〕
- 17日 生涯学習出前講座
〔中国人企業研修生10名に日本の文化、習慣、生活における留意事項を説明 事務局1名〕
- 19日 第4回アップ ウィズ ビーブル実行委員会
〔地域活動先の検討と受入準備 事務局3名・オープンハート〕
- 22日 中学生 職場体験
〔三好中、三好北中の中学2年生2名がTIAにて職場体験 25日まで〕
- 25日 外国人集住都市会議 愛知・三重地域ブロック会議
〔11月開催の東京会議への準備 事務局2名〕
- 愛知県多文化共生社会づくり推進会議
〔第2回会議 子どもの教育を重点に議論 事務局1名〕
- とよた市民活動センターとことんトーク
〔中間支援組織の課題などを協議 事務局1名〕
- 26日 第2回 外国人災害サポートボランティア養成講座
〔長岡市から講師を招き、新潟中越地震での外国人被災者支援の話を聞く 26名〕
- 28日 豊田おいでんまつり実行委員会
〔来年度以降の祭りのあり方について 事務局1名〕
- 第7次総合計画審議会
〔重点目標の整理と意見交換 事務局1名〕
- 30日 中学生職場体験
〔竜崎中学2年生2名が来訪、日本語サロン教室見学、関係者へのインタビュー等〕

- 1日 トヨタブラジル人整備工養成コース第8期入学式
〔第8期生20名 理事長からの祝辞 事務局2名〕
- 6日 中学生職場体験
〔美里中学2年生1名 日本語サロンの協力のもと職場体験プログラムを実施〕
- 9日 日本語講座閉講式
〔前期20名が修了〕
- 10日 アルファ開講〔受講者146名でスタート〕
- 第4回アップ ウィズ ビーブル実行委員会
〔地域活動先の検討と受入準備 事務局3名・オープンハート〕
- 13日 日本語サロン閉講式〔21名が修了〕
- 16日 第3回 外国人災害サポートボランティア養成講座
〔阪神淡路大震災の外国人被災者支援で活躍した講師を招き、災害時の通訳・翻訳活動の実践を学ぶ22名〕
- 英語サロン「英語で習うパキスタン料理」E-IFF〔19名が参加〕
- 19日 立教大学大学生受入
〔多文化について研究をしている社会学部現代文化学科3年生1名を受入〕
- 23日 第4回 外国人災害サポートボランティア養成講座〔第2回と同様〕
- 24日 ほづみ会タイランド講座
〔院の家のタイスタッフをゲストに招き、現地の活動状況の講演と、タイ民芸品のクラフト作成講座〕
- 25日 外国人集住都市会議 愛知・三重ブロック地域会議
〔東京会議提案のまとめ 事務局2名〕
- 28日 豊田地域看護専門学校講座
〔1年生を対象に国際交流理解について、また豊田市の現状を理解してもらつための講座を実施 事務局2名〕
- 第7次総合計画審議会 分科会
〔都市分科会開催、以後3分科会にわかれて協議 事務局1名〕
- 30日 UWPホストファミリー事前説明会
〔受入についての連絡事項、マッチングなど オープンハート 事務局3名〕

エスニック探検隊

インドネシア食材店 「ワルン・アナク・ランタウ」



ロコミで広がる噂をたよりに訪れたのが「ワルン・アナク・ランタウ」、インドネシアの食材・香辛料を扱う店だ。今年3月にオープンしたこの店の運営は、5人のインドネシア人スタッフ。「お客さんは“友達”、一度だけではなく、何度も店に来てほしい」というスタッフの気持ちから、店内の商品は良心的な価格に設定されている。また、月に数回の日曜日、本場イ

ンドネシア料理をふるまうなどのうれしいサービスもある。その心遣いの結果、今では“友達”の数が200人ほどに。今後は中古品販売やレストランも展開予定で、2号店も検討中。お店の他にも、結婚式やパーティ、会合などのケータリングや弁当の注文も受け付けており、スタッフのリナさんが腕をふるう。その腕前も好評で、レシピの問い合わせもあるそうだ。日本語も上手なので、気軽に聞いて本場の料理にチャレンジするのもいいかも。

(構成 / 河合直美)



このビルの上2階

豊田市小坂本町1-5-9
火曜日～日曜日
12:00 - 20:00
月曜日定休



異文化 丸かじり

「稲武ネパール ダンスグループ」



9月24日豊田スタジアム産業フェスタにて

いまだ記憶に新しい愛・地球博。多くの人々が訪れ、万博会場や各地でたくさん国際交流の花が咲き、ここ稲武町でもいくつかの素敵な花が開いた。

万博一市町村一國フレンドシップ事業で、稲武町のフレンドシップ国がネパール王国に決まったその瞬間から、稲武町ではいくつかのグループが発足した。山あいの町である稲武町とヒマラヤのふもとにあるネパール王国は、気候風土が似ていることから、ネパールのそばを作るグループや珍しい青い芥子(けし)を作るグループもできた。

以前からフォークダンスのグループで活動していた林泰子さんと、ネパール王国出身の玉村エムナさんが中心となり、稲武ネパールダンスグループは結成された。現在メンバー約25名、年代も性別も様々。みんな仕事が終わった後、稲武中学校のホールに集まって練習している。

万博では、ネパール王国ナショナルデーと稲武町の日である7月7日に、EXPOホール等で披露した。ネパール王国皇太子もご出席され、緊張もした



3月25日鞍ヶ池公園フレンドシップフェスティバルにてであろうが、日本の盆踊りのように親しみやすく懐かしい感じがする踊りで、お客さんから手拍子が聞こえるほど盛り上がったとのこと。

今年3月に鞍ヶ池公園で行われたフレンドシップフェスティバルでは、東海テレビでも放送され、また産業フェスタ(9月24日(日)豊田スタジアム)でも、ネパール文化を肌で感じ、友好のダンスでさらに友好を深めた。

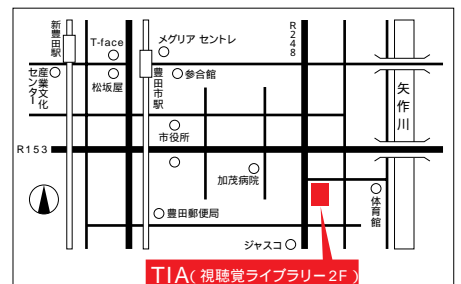
今後もネパールダンスを続けていきたいと林さん。いつか本場ネパール王国の地でグループが踊りを披露する日も夢ではないのかなと感じた。

(構成 / 兵藤隆裕)

編集後記

芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋...人によって秋の楽しみかたは色々。TIAでもこの秋は事業が目白押しです。ご興味のある方はぜひお越し下さい!

(白)



2006年10月1日発行(3,000部季刊)
編集・発行 財団法人豊田市国際交流協会(TIA)
〒471-0023 豊田市拳母町3-59
TEL(0565)33-5931 FAX(0565)33-5950
E-mail:tia@hm.aitai.ne.jp 月曜休
[ホームページ] http://www.tia.toyota.aichi.jp/